

報告第1号 令和3年度社会福祉法人石川町社会福祉協議会事業報告書

項 目	実 施 報 告
<p>1 組織運営 体制</p>	<p>1 石川町社会福祉協議会社会福祉推進協力員の委嘱 令和3年4月13日</p> <p>2 石川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催 令和3年6月14日</p> <p>3 監査の実施 (1) 令和2年度石川町社会福祉協議会期末監査の実施 令和3年5月21日 (2) 令和3年度石川町社会福祉協議会期中監査の実施 令和3年11月17日</p> <p>4 理事会の開催 (1) 第1回理事会（出席8名）令和3年5月31日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度石川町社会福祉協議会事業報告について ・ 令和2年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算報告について ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会定時評議員会の開催について ・ 石川町社会福祉協議会評議員の同意について ・ 石川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員の選任について ・ 石川町社会福祉協議会評議員選任・解任委員会の開催について (2) 第2回理事会（出席9名）令和3年6月18日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川町社会福祉協議会会長・副会長・常務理事の選任について (3) 第3回理事会（出席9名）令和4年3月18日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 専決処分事項の承認について（職員給与規程の一部改正） ・ 石川町社会福祉協議会定年後の雇用継続規程の一部改正 ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支補正予算（案）について ・ 令和4年度石川町社会福祉協議会事業計画（案）について ・ 令和4年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支予算（案）について ・ 令和4年度石川町社会福祉協議会と石川町との委託等契約の締結について ・ 石川町社会福祉協議会第三者委員の選任について ・ 石川町社会福祉協議会事務局長の選任について ・ 石川町社会福祉協議会法令遵守責任者の選任について </p> <p>5 評議員会の開催 (1) 定時評議員会（第1回）（出席21名）令和3年6月18日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和2年度石川町社会福祉協議会事業報告について ・ 令和2年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支決算報告について ・ 石川町社会福祉協議会理事・監事の選任について (2) 第2回評議員会（書面議決）令和4年3月29日 <ul style="list-style-type: none"> ・ 石川町社会福祉協議会事務局長の選任について ・ 令和3年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支補正予算（案）につ </p>

- いて
- ・令和4年度石川町社会福祉協議会事業計画（案）について
- ・令和4年度石川町社会福祉協議会社会福祉事業会計収支予算（案）について

2
調査・広
報活動

1 しあわせを高める運動対象世帯調査（R4.4.1）

世帯区分	石川	沢田	山橋	中谷	母畑	野木沢	合計
生活困難者世帯	24	1	4	6	3	4	42
寝たきり老人	1	1	3	4	3	0	12
独居老人	210	27	47	64	41	48	437
日中独居老人	75	22	69	70	36	17	289
高齢者世帯	138	27	72	77	51	51	416
身体障がい児者	33	13	35	25	22	19	147
知的障がい児者	4	1	2	2	5	3	17
精神障がい児者	8	0	7	2	3	1	21
ひとり親世帯	15	4	2	8	6	13	48
両親のいない世帯	0	0	1	0	0	0	1
ひきこもり・虐待等気になる世帯	5	1	0	3	0	0	9
情報提供必要世帯（要配慮世帯）	10	2	5	3	1	0	21

計 1,460世帯

2 広報活動

- （1）本会の予算・決算・事業及び活動状況を社協だより（年3回発行）及びホームページへ掲載する他、町広報いしかわへ心配ごと相談日の日程を掲載した。
- （2）町内の新聞社へ各種寄付金、赤い羽根募金、歳末助け合い募金のお知らせを行った。

3
在宅福祉
対策

1 訪問介護事業（ホームヘルプ事業）

- ・年間利用者数 648名
- ・年間訪問回数 6,992回
- ・年間利用料額 24,183,358円

2 障害者福祉サービス事業（ホームヘルプ事業）

- ・年間利用者数 75名
- ・年間訪問回数 696回
- ・年間利用料額 2,689,710円

3 障害者サービス等利用計画利用者数 16名

年間利用料額 238,880円

4 居宅介護支援事業

- （1）介護ケアプラン年間利用者数 1,108名
年間利用料額 16,053,520円

	<p>(2) 介護予防ケアプラン年間利用者数 32名 年間利用料額 158,160円</p> <p>5 日常生活自立支援事業利用者数 10名 年間利用回数 135回 年間利用料額 140,400円</p> <p>6 地域福祉ネットワーク事業の推進育成 ・各地区ネットワーク委員会へ育成支援を実施した。</p> <p>7 緊急連絡カードの整備 ・緊急連絡カードの設置数 348件</p> <p>8 生活支援体制整備事業（第1層コーディネーター） 日常生活上の支援を必要とする高齢者が、住み慣れた地域で生きがいを持ち生活を継続するため必要な生活支援や介護予防のための仕組みづくりを行う。 また、ニーズの掘り起こしやサービス提供者と連携し多様な支援体制の充実強化を図った。</p> <p>(1) 福祉部会支援</p> <p>① 1層2層定例会議（各福祉部会長合同会議を含む）8回</p> <p>② 各地区福祉部会の活動状況</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 沢田地区：健康福祉部会会議4回、移動販売「とくし丸」の運行継続、傾聴訪問活動（通年）、手作り健康保険証ケース、「困った時」の対応連絡先（自治センター）電話番号表示カードの配布、ちょこっとボランティア活動のためのアンケート実施 ・ 中谷地区：総会・福祉部会役員会2回、運動サロン情報交換会開催、「喫茶去」での認知症サポーター養成講座開催、その後、高齢者の交流の場になっている。見守り訪問活動再開「つながっぺ」3号発行 ・ 山橋地区：福祉部会会議2回 ・ 母畑地区：福祉部会会議2回（「認知症サポーター養成講座」受講） ・ 野木沢地区：目的共有のために、地域自治協議会役員並びに福祉部会、民生児童委員合同会議2回 <p>(2) 1層協議体会議（町全体）の協力 今年度も新型コロナ感染予防対策のため集合型での開催ができず書面での開催となった。</p> <p>(3) 「いしかわまち地域の支え合い通信」の定期発行 2回 「地域の見守り・支え合い・助け合い」活動の周知・普及啓発を目的とする。</p> <p>9 地域包括支援センター事業 地域の高齢者等の心身の健康保持及び生活の安定に必要な援助を行い、地域の保健医療の向上と福祉の増進を包括的に支援するために平成31年度から石川町より委託された。</p> <p>(1) 指定介護予防支援事業所業務</p> <p>① 介護予防マネジメント事業（予防給付対象者） 介護予防支援 プラン作成67件（内訳：包括分65件、居宅介護支援事業所委</p>
--	---

託2件)

・認定を受けてもサービスを利用しないケースの状況把握訪問7件

②介護予防・日常生活支援総合事業（総合事業対象者）

介護予防ケアマネジメント

プラン作成165件（内訳：包括分151件、居宅介護支援事業所委託14件）

(2) 包括的支援事業

①総合相談支援事業

○独居世帯等の実態把握及び支援

・在宅介護支援センターとの調整会議12回

・民生児童委員との情報交換会6回

・総合相談への対応（在介分も含む）相談件数892件（1,743件）

（新規相談180件（233件）継続712件（1,510件）

・ケース検討会14回（高齢者虐待11、認知症3）

②権利擁護事業

・権利擁護に関する相談件数101件

③ 包括的・継続的マネジメント

・介護支援専門員及び介護スタッフからの相談対応・支援9件 延べ34回

・町内主任介護支援専門員・管理者会議3回 参加者延46人

・個別ケースの事例検討1回、1事例14人（地域ケア会議に再掲）

④ 生活支援体制整備事業

・1層2層定例会議参加3回

⑤認知症総合支援事業

・認知症初期集中支援チーム員会議管内5町村で開催4回、チーム員会議ケース1件、チームの対応件数延6件

⑥地域ケア会議

・個別ケースケア会議の開催1回 参加者延14人

(3) 任意事業

①介護給付費等適正化事業

・リハビリ活動支援事業の活用1件

○家族介護支援事業

・認知症介護者交流会・介護者のつどいの開催2回 参加者延12人

○認知症高齢者見守り事業

・認知症カフェ「話・和・輪の広場」の運営支援6回 参加者延123人

・認知症ボランティア全体会等の開催 1回（書面開催）

・認知症相談会 1回10人

②成年後見制度利用支援事業

・関係者への制度の研修実施

③福祉用具・住宅改修支援事業

④認知症サポーター養成事業

○認知症サポーター養成講座の開催8回 受講者187人

（石川小・野木沢小・沢田小・中谷地区自治協議会福祉部会・母畑地区自治協議会福祉部会・中谷シニアスクール・中谷成人スクール・一般町民）

（累計123回 4,983人）

⑤ 各種教室等における講話・研修会の講師等、各種研修会への参加

地域密着型運営推進会議9回、施設避難訓練1回

<p>4 低所得者 援助対策</p>	<p>1 各種福祉制度の利用促進 低所得者に対し、生活の安定及び自立支援のため、民生委員、県社協の協力を得て各種福祉資金の利用促進に努めた。この他、新型コロナウイルス感染症により、所得が減少した世帯に対し緊急小口資金・総合支援資金（国の貸付制度）により社協が窓口となり行った。</p>																																										
	<table border="1" data-bbox="363 409 1406 714"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>貸付件数</th> <th>貸与額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活福祉資金</td> <td>1</td> <td>90,000</td> </tr> <tr> <td>生活援助資金</td> <td>2</td> <td>130,000</td> </tr> <tr> <td>高額療養費支払資金</td> <td>0</td> <td>0</td> </tr> <tr> <td>緊急小口資金</td> <td>16</td> <td>3,100,000</td> </tr> <tr> <td>総合支援資金</td> <td>30</td> <td>15,900,000</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 歳末助け合い募金義援金の配分 町民、事業所等から寄せられた義援金を理事会に諮り、行政区長や民生委員の協力を得て、次のとおり配分した。</p> <table border="1" data-bbox="363 907 1406 1202"> <thead> <tr> <th>区 分</th> <th>世 帯</th> <th>人 員</th> <th>配分額（円）</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>生活困難者世帯</td> <td>27</td> <td>64</td> <td>334,000</td> </tr> <tr> <td>独居老人</td> <td>54</td> <td>54</td> <td>594,000</td> </tr> <tr> <td>父子世帯</td> <td>1</td> <td>2</td> <td>12,000</td> </tr> <tr> <td>母子世帯</td> <td>30</td> <td>85</td> <td>385,000</td> </tr> <tr> <td>合 計</td> <td>112</td> <td>205</td> <td>1,325,000</td> </tr> </tbody> </table>	区 分	貸付件数	貸与額（円）	生活福祉資金	1	90,000	生活援助資金	2	130,000	高額療養費支払資金	0	0	緊急小口資金	16	3,100,000	総合支援資金	30	15,900,000	区 分	世 帯	人 員	配分額（円）	生活困難者世帯	27	64	334,000	独居老人	54	54	594,000	父子世帯	1	2	12,000	母子世帯	30	85	385,000	合 計	112	205	1,325,000
区 分	貸付件数	貸与額（円）																																									
生活福祉資金	1	90,000																																									
生活援助資金	2	130,000																																									
高額療養費支払資金	0	0																																									
緊急小口資金	16	3,100,000																																									
総合支援資金	30	15,900,000																																									
区 分	世 帯	人 員	配分額（円）																																								
生活困難者世帯	27	64	334,000																																								
独居老人	54	54	594,000																																								
父子世帯	1	2	12,000																																								
母子世帯	30	85	385,000																																								
合 計	112	205	1,325,000																																								
<p>5 心配ごと 相談事業</p>	<p>1 心配ごと相談実績 年間開設日数 12日 相談利用件数 22件 利用者数（男11名・女11名）</p> <table border="1" data-bbox="300 1395 1525 1592"> <thead> <tr> <th>相談事項</th> <th>件 数</th> <th>相談事項</th> <th>件 数</th> <th>相談事項</th> <th>件 数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>財産</td> <td>12</td> <td>相続</td> <td>2</td> <td>苦情</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>借金</td> <td></td> <td>年金</td> <td></td> <td>家族</td> <td>1</td> </tr> <tr> <td>結婚・離婚</td> <td>1</td> <td>住宅</td> <td></td> <td>その他</td> <td>5</td> </tr> </tbody> </table> <p>2 常勤相談員による相談会 常勤相談員4名による心配ごと相談会を毎月1回開催し、延べ3件の相談があった。</p> <p>3 弁護士による相談会 大野貴雄弁護士による専門相談会を5回開設し、延べ19件の相談があった。</p> <p>4 常勤相談員の研修 大野貴雄弁護士来所の折に最近の判例等についての研修会を行った。</p>	相談事項	件 数	相談事項	件 数	相談事項	件 数	財産	12	相続	2	苦情	1	借金		年金		家族	1	結婚・離婚	1	住宅		その他	5																		
相談事項	件 数	相談事項	件 数	相談事項	件 数																																						
財産	12	相続	2	苦情	1																																						
借金		年金		家族	1																																						
結婚・離婚	1	住宅		その他	5																																						

6
善意の寄付・ボランティアの推進

1 善意の寄付金

区 分	件 数	金 額 (円)
遺志による寄付	195	2,180,000
指定寄付	3	33,000
合 計	198	2,213,000

2 サマーショートボランティアスクールの開催

学法石川高等学校生2名が、石川共生園で夏休みの期間中、入所者とのふれあい、清掃等のボランティア体験学習を行った。

3 ファミリーサポートセンター事業

乳幼児や小学生等の児童を有する子育て中の援助を受けたい保護者を依頼会員（預ける側）、援助を行いたい会員を提供会員（預かる側）として、児童の一時預かり事業を令和元年8月に町から受託した。また、本事業を実施するにあたり昨年度に続き提供会員に3日間24時間の育児講習及び救急救命講習を行った。

令和3年度事業実績 61件、92名（依頼会員7名、提供会員7名）

4 ボランティア福祉協力校の育成

町内の小中高6学校をボランティア福祉協力校として指定し、ボランティア活動の指導援助を行った。

5 災害活動ボランティア・赤十字奉仕団活動の実施

災害ボランティアにおいては、これまで石川管内の特別養護老人ホームさくら荘、さぎ荘、よもぎ荘での草刈り、植木の剪定等の奉仕活動の実施体制を整えていたが、コロナ禍の中で実施は見送られた。また、赤十字奉仕団においてもさくら荘への毎月の生け花、夏祭り及び清掃活動等の支援をおこなっていたが、同様の理由で実施できなかった。なお、献血車来町時の広報活動は計画どおり行われた。

6 傾聴ボランティア活動の実施

閉じこもりがちな高齢者等の精神的なケア及び見守り対策として、利用者宅を訪問しお話を聞く、話し相手の傾聴ボランティアを実施した。（コロナ禍の中で利用は少なかった。）（利用者2名・年間利用回数4回）

7 雪かきボランティア「いしかわ雪かき隊」の実施

自宅の除雪が困難な高齢者世帯や障がい者世帯等で、家族や親類等からの支援が困難な概ね80歳以上の世帯へ雪かき隊員ボランティアを派遣し除雪活動を行う体制を整えたが、除雪を要する降雪がなかった。

（雪かき隊員登録者：学石校生89名）

8 長寿会連合会

高齢者の健康維持と生きがいのある豊かな生活を送ることができるよう、町内22単位老人クラブ（会員数854名）の連合組織である石川町長寿会連合会事務局を担当し、これまで各種ニュースポーツ大会、長寿会報発行（年2回）を行ってきたが、今年度は新型コロナウイルス感染症防止のため活動を縮小した

7 その他の 福祉対策	1 福祉活動団体の育成のため下記の団体等に助成を行った。 (単位：円)			
	福祉団体名	助成額	福祉団体名	助成額
	身体障害者福祉会	134,000	手話サークル太陽	45,000
	手をつなぐ育成会	45,000		
	2 児童福祉対策として、猫啼ふれあい広場へ山砂の資材支給、当町宮城団地公園 当町集会所公園の遊具の撤去を行った。			
	3 老人福祉対策として、新田ふれあいセンター・塩沢農業構造改善センター・野 木沢自治センター等へ洗砂を支給した他、山形ゲートボール場・板橋区内2ゲ ートボール場へコート整備器具や馬場町立ケ岡グラウンドへアルミ製縁台を支給し た。			
	4 町民、行政区長、事業所、福祉団体等から協力を得て共同募金運動を展開した。 ・赤い羽根共同募金額 2, 3 5 6, 7 5 7 円 ・歳末助け合い募金額 1, 9 8 6, 0 2 6 円			
8 財源の確 立	1 社協全世帯加入を促進し、各行政区長の協力により会員会費の自主財源の確保に 努めた。			
	2 補助金、委託金により財源の確保に努めた。			
9 その他	1 研修会、各種講習会へ積極的に参加し、職員の資格取得や職員の資質及び技術の の向上に努めた。なお、コロナ禍の中で感染対策のため研修会や講習会の大半はイ ンターネットによるオンライン形式で行われた。			
	2 職員の健康管理のため、各種健康診査を実施した。			